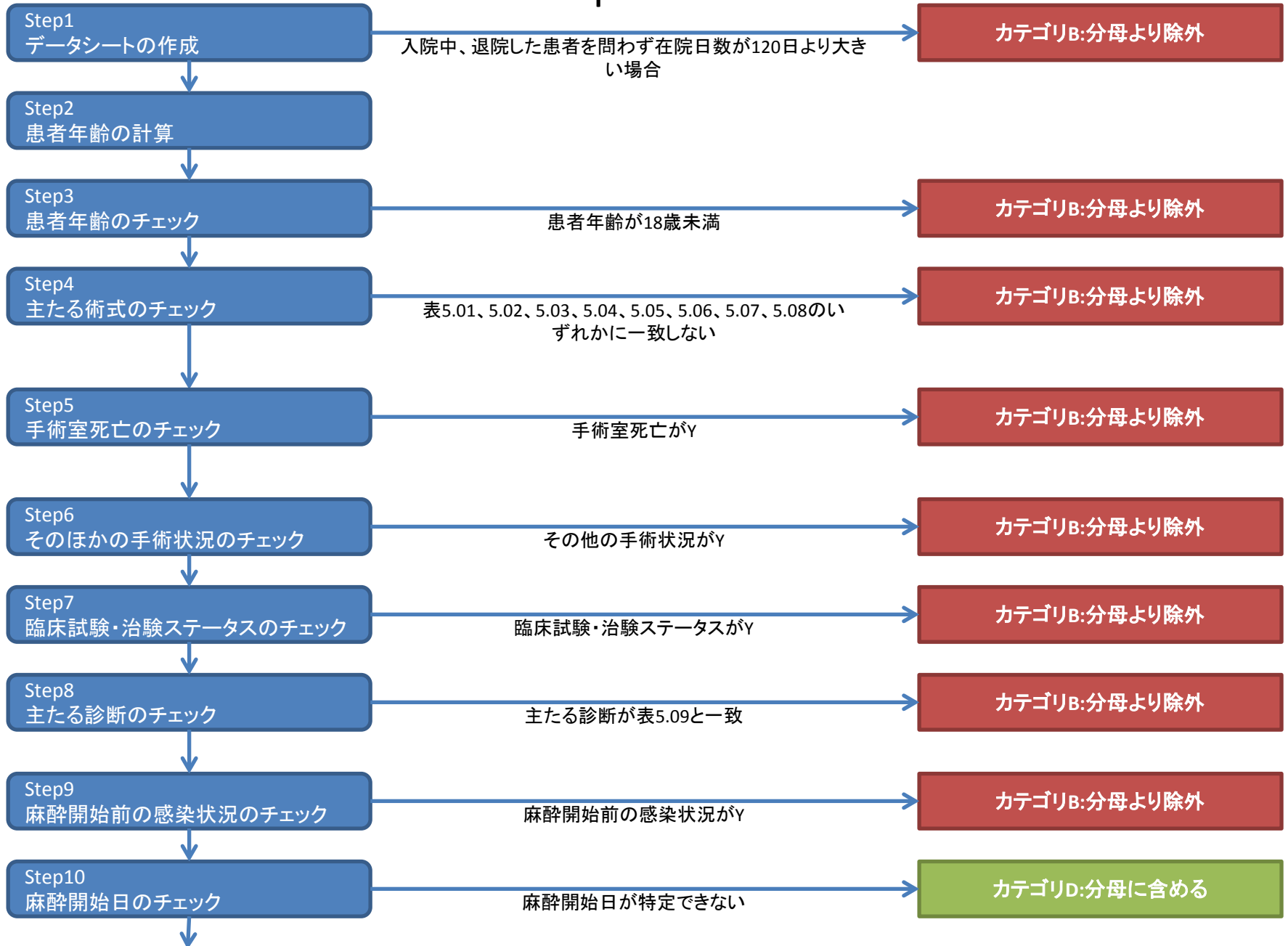
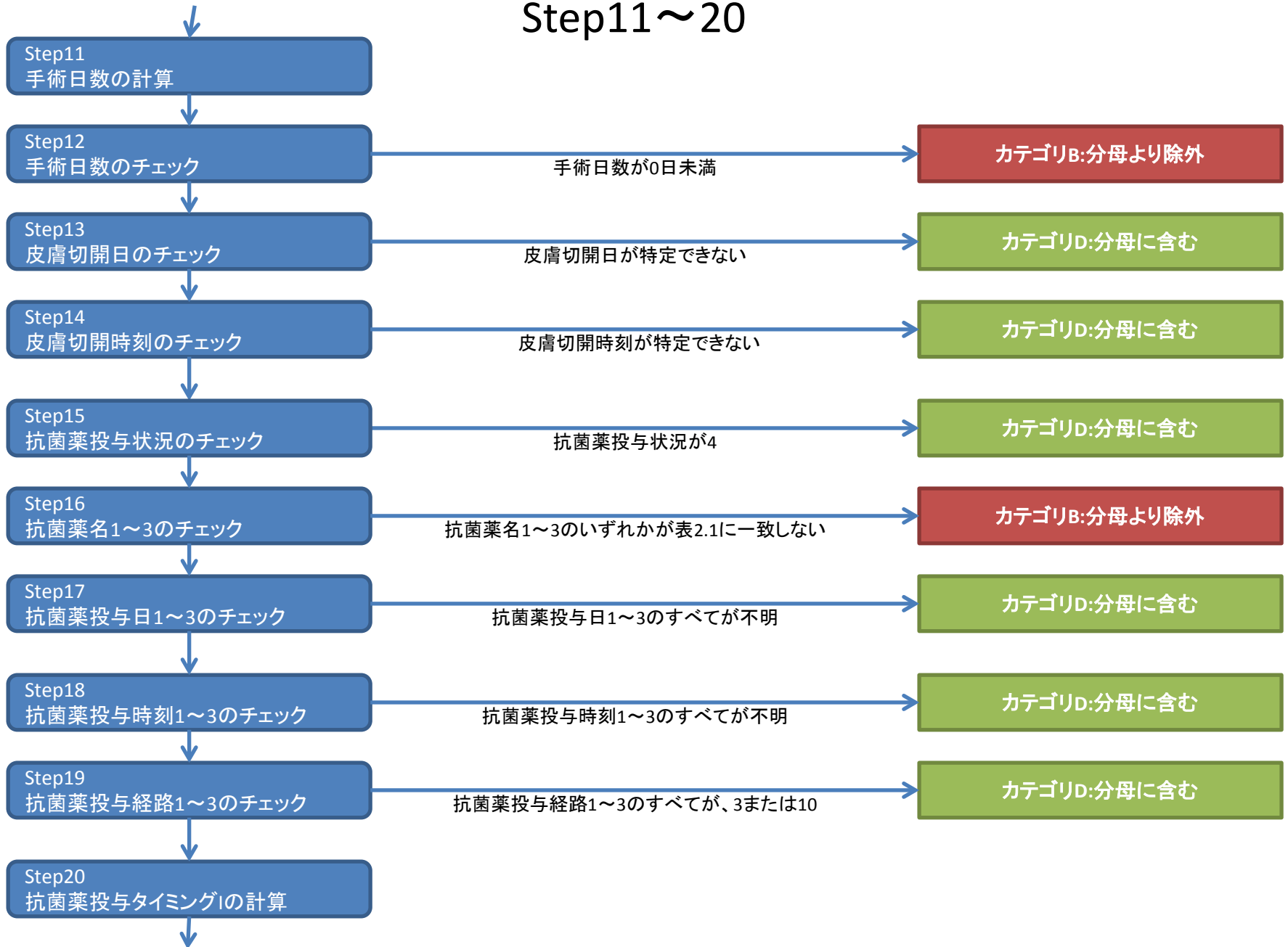


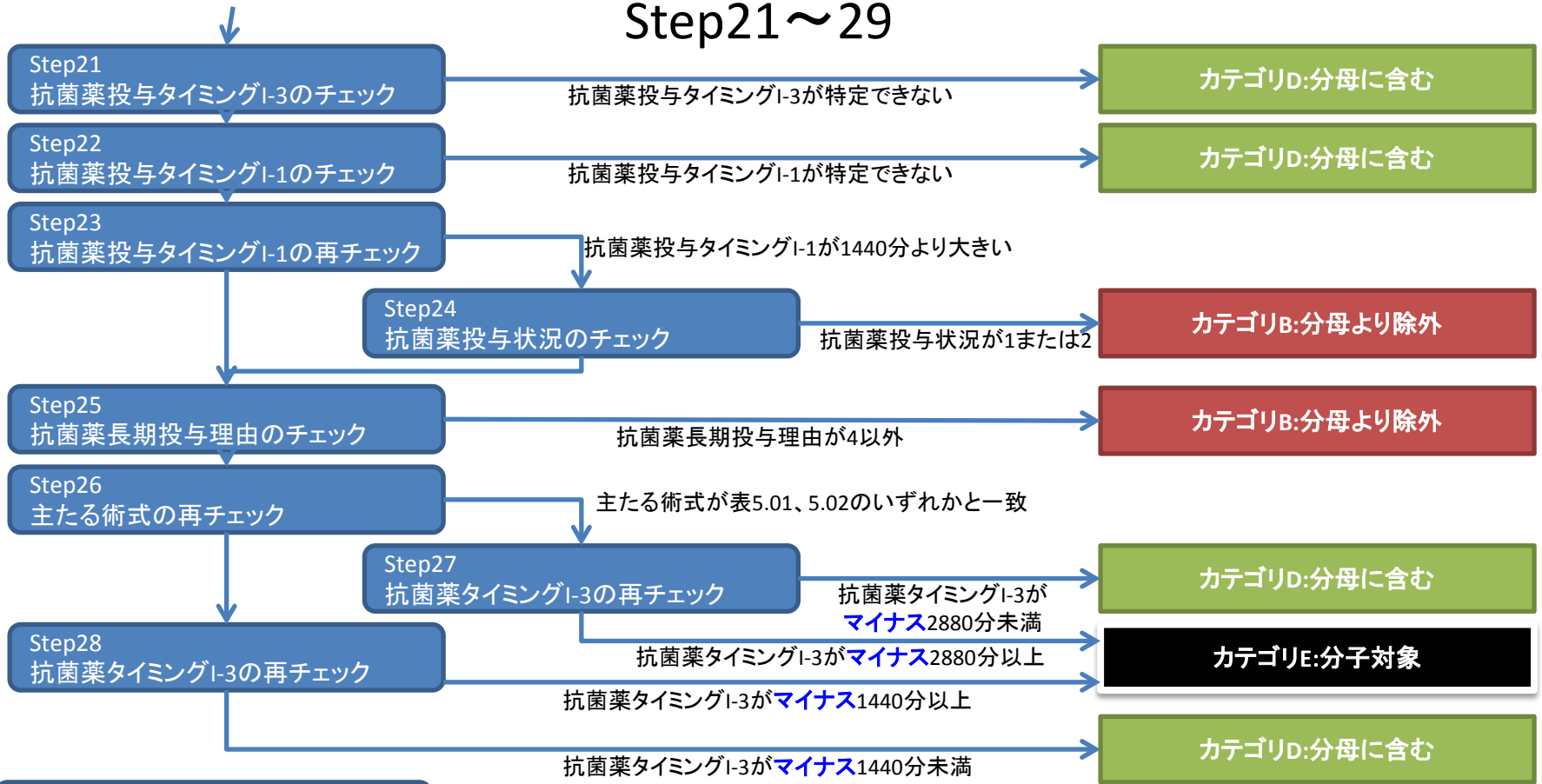
Step1～10



Step11～20



Step21～29



Step29-a
これまでの測定カテゴリDの総数を求める。

カテゴリD:分母に含む



Step29-b
これまでの測定カテゴリEの総数を求める。

カテゴリE:分子対象



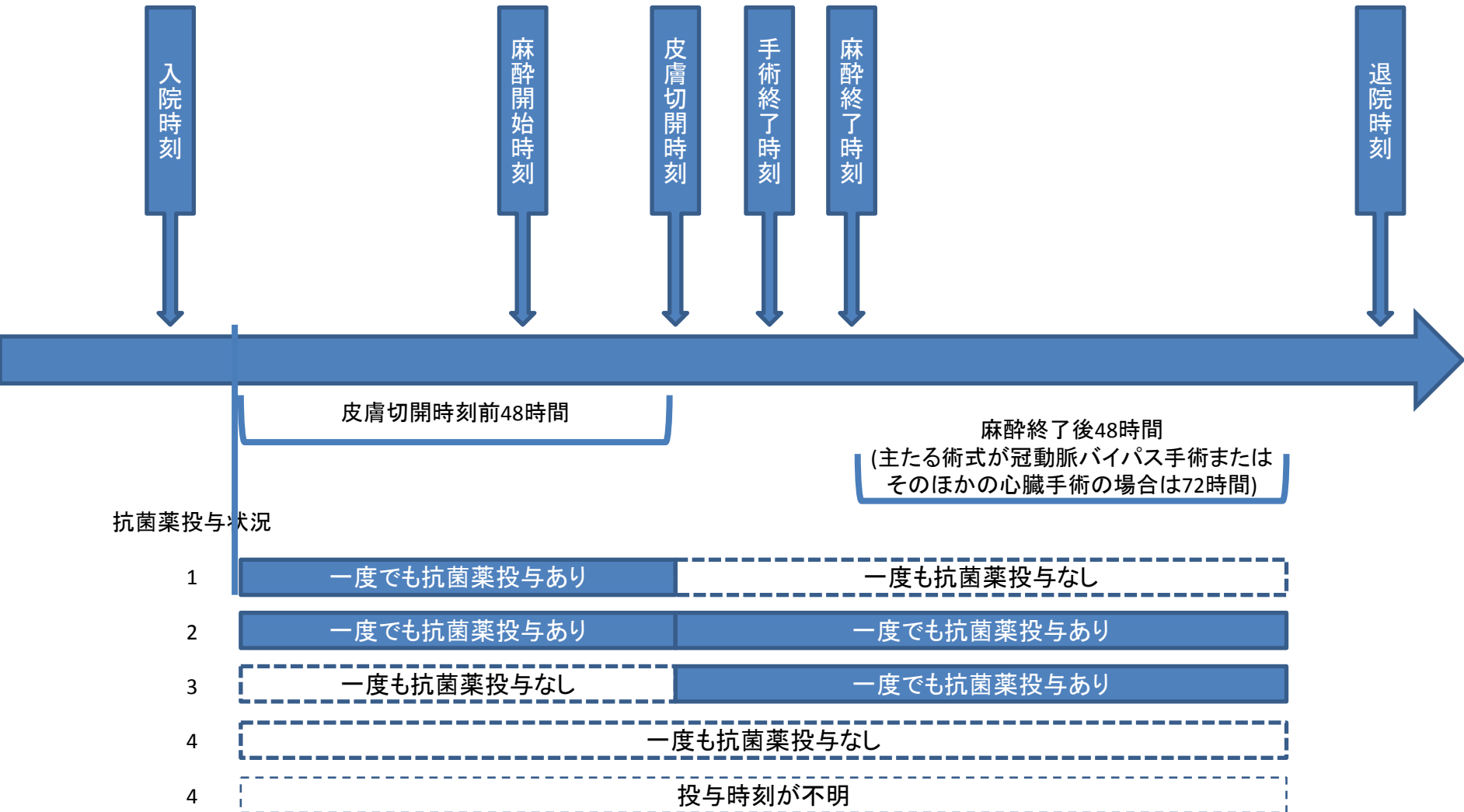
Step29-c
分母
= Step35-a
+ Step35-b



Step29-c
分子 = Step35-b

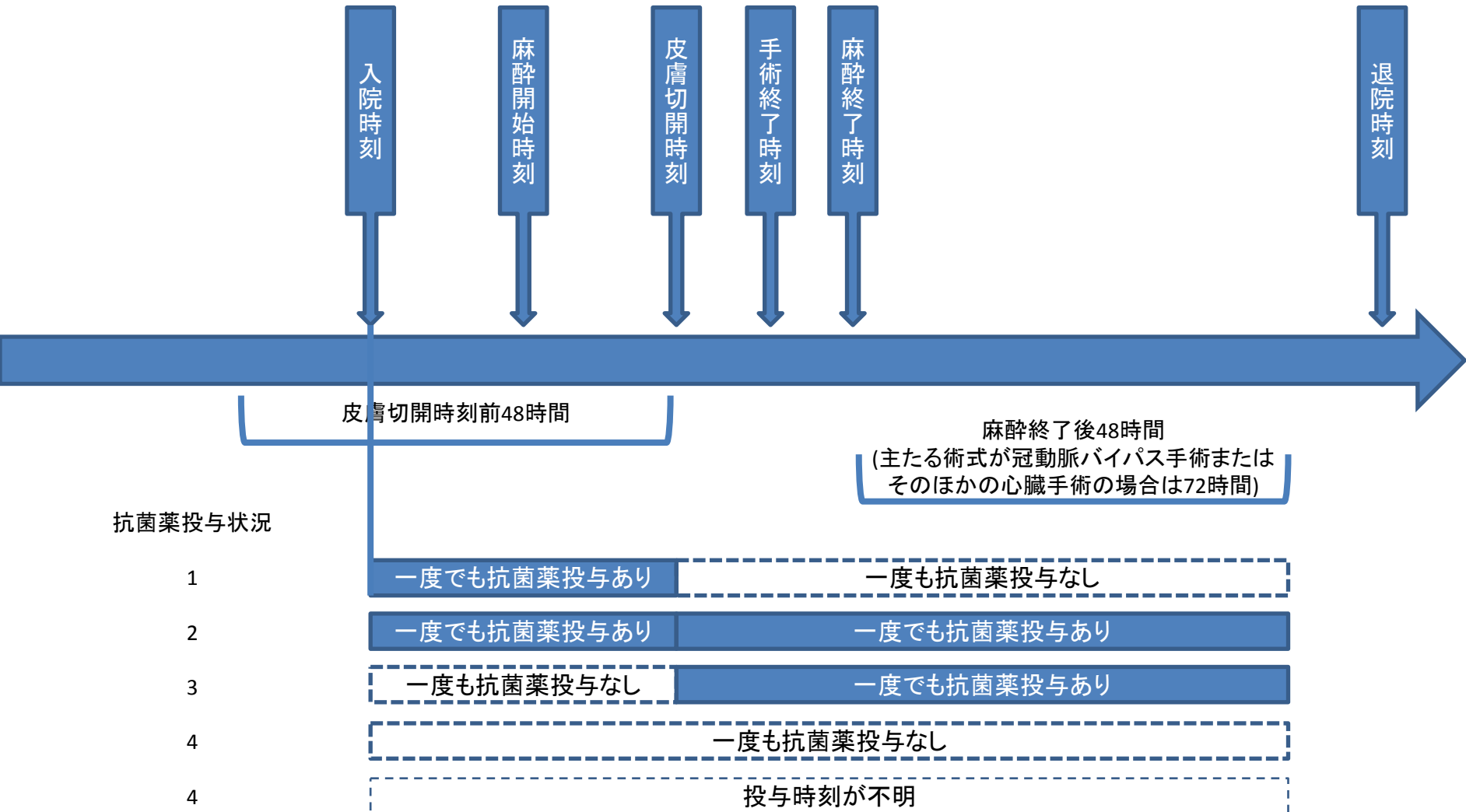
抗菌薬投与状況の求め方

入院時刻が皮膚切開時刻前48時間より早い場合



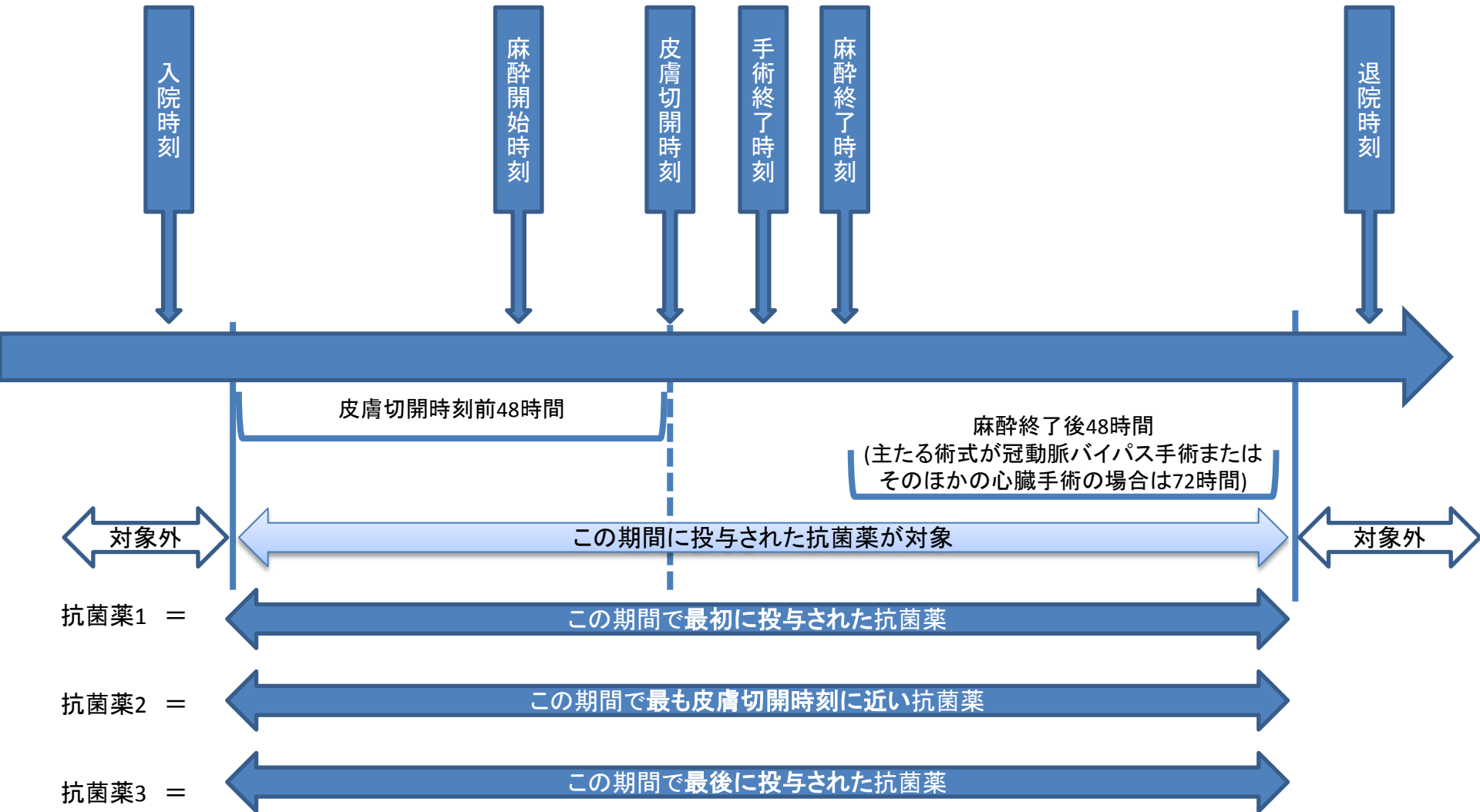
抗菌薬投与状況の求め方

入院時刻が皮膚切開時刻前48時間より遅い場合



抗菌薬の1～3の求め方

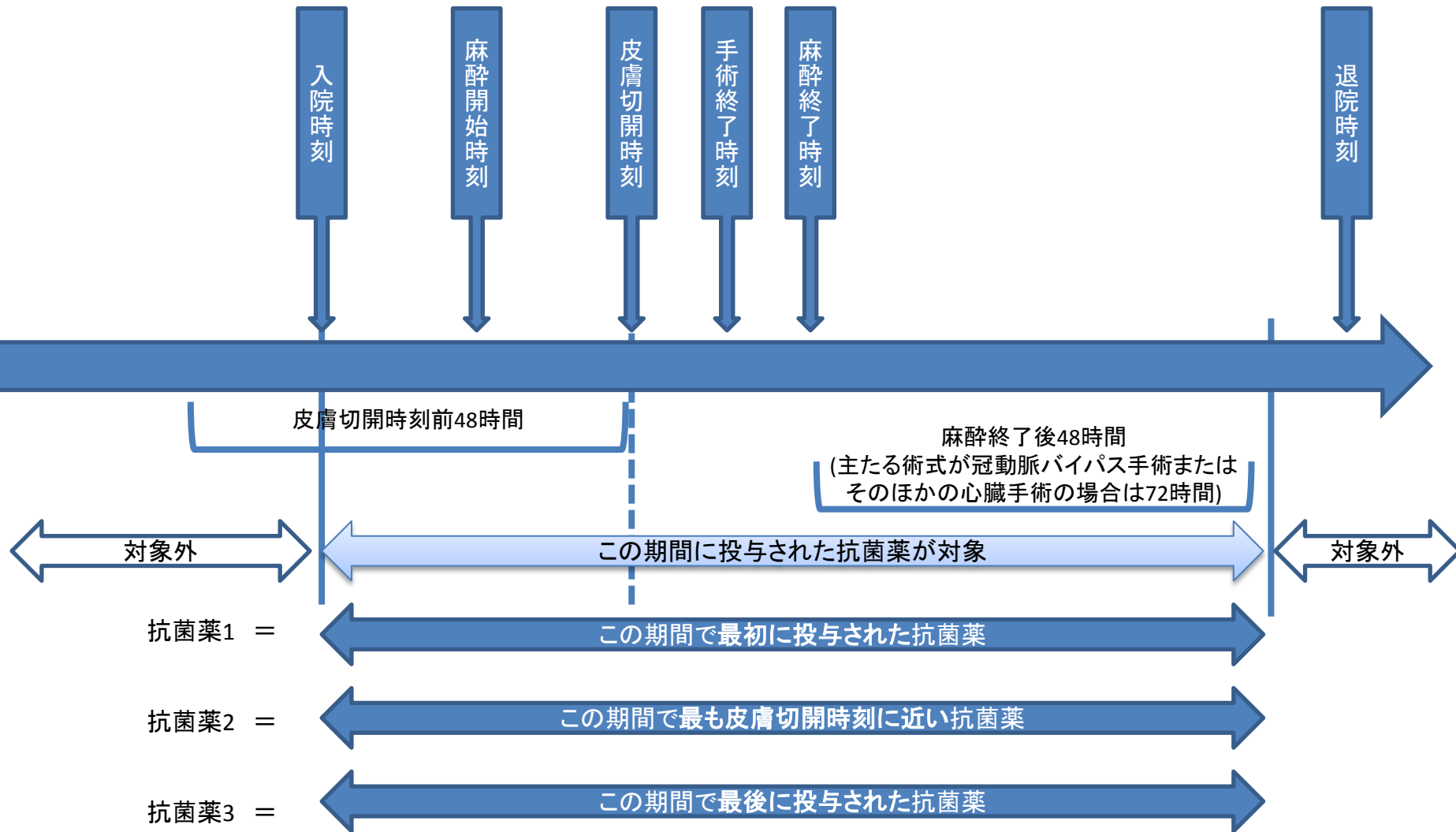
入院時刻が皮膚切開時刻前48時間より早い場合



抗菌薬1～3それぞれについて抗菌薬名, 抗菌薬投与時刻(開始時刻), 抗菌薬投与経路を求める

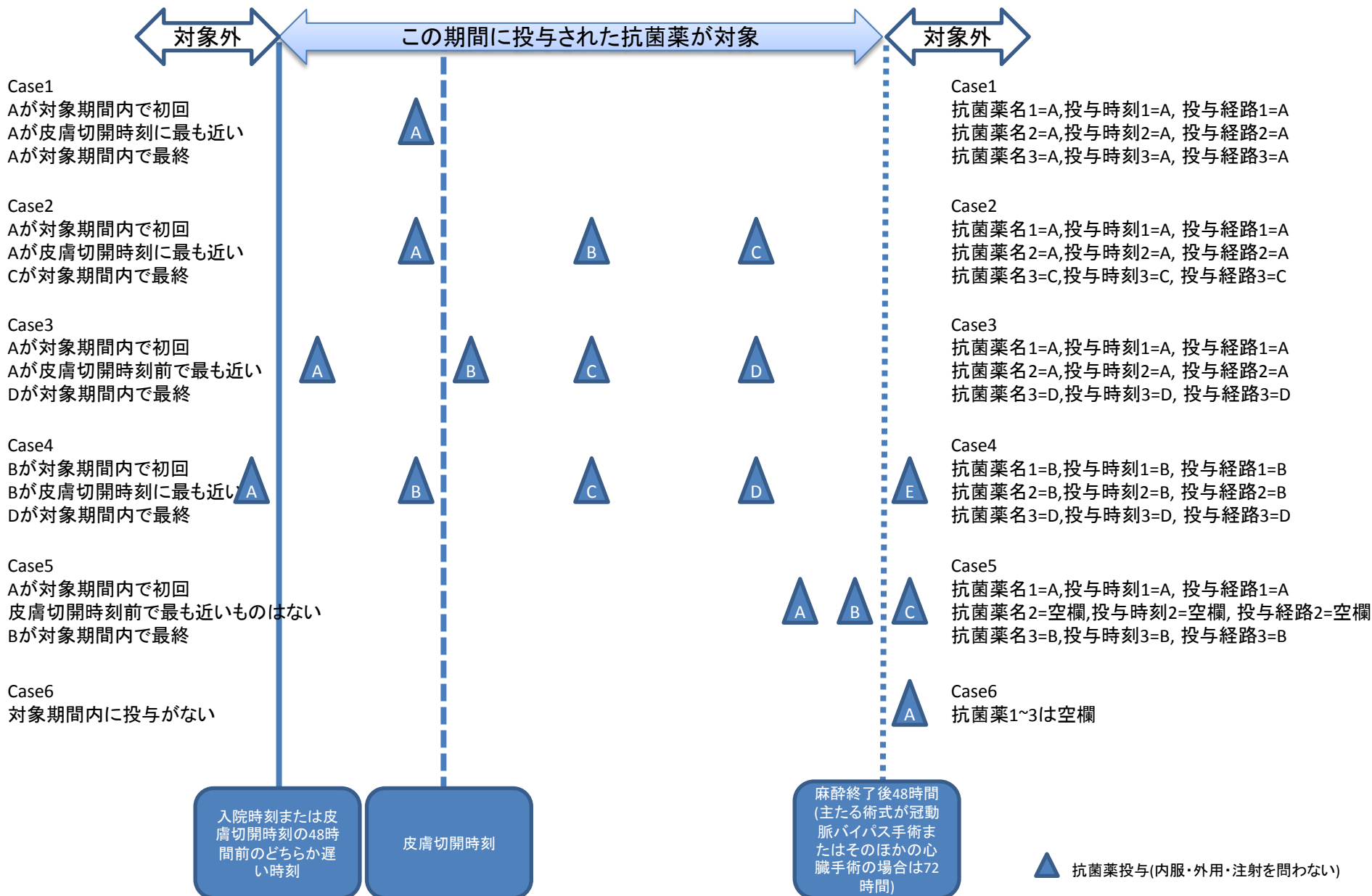
抗菌薬の1～3の求め方

入院時刻が皮膚切開時刻前48時間より遅い場合



抗菌薬1～3それぞれについて抗菌薬名, 抗菌薬投与時刻(開始時刻), 抗菌薬投与経路を求める

抗菌薬の1～3の求め方 投与例とその決定方法



用語説明①

創分類(Wound Class)について

厚生労働省 院内感染対策サーベイランス事業 手術部位感染 (SSI) 部門コード表 創分類コードより引用 一部改定

http://www.nih-janis.jp/section/master/woundclassificationcode_ver1.0_20000701.xls

コード	Wound Class	創分類	説明
C	Clean	清潔創(クラスⅠ)	清潔創は、全く炎症のない非汚染創である。呼吸器、消化器、生殖器、感染のない尿路は含まれない。さらに、清潔創は一時的に閉創されたものであり、必要に応じて閉鎖式ドレナージによる排液が行われている。非穿通性(鈍的)外傷に対する手術の切開創は、この基準を満たせばこの創分類に含まれる。
CC	Clean/Contaminated	準清潔創(クラスⅡ)	準清潔創は、気道・消化管・生殖管・尿路が制御された状態で開けられ、異常な汚染を伴わない手術の創である。具体的には、胆道・虫垂・膣・口腔の手術は、明らかな感染の証拠や手技の破綻が認められなければこの創分類に含まれる。
CO	Contaminated	汚染創(クラスⅢ)	汚染創は、開放創、新鮮創、偶発的創傷を含む。さらに、清潔操作に大きな破綻を生じた(例: 開胸心臓マッサージ)あるいは消化管から大量に液の流出を生じた手術、急性非化膿性炎症を認める手術における切開創がこの創分類に含まれる。
D	Dirty	化膿創(クラスⅣ)	化膿創あるいは感染創は、壊死組織の残存する陳旧性外傷、すでに存在する臨床的感染あるいは消化管穿孔を伴う創を含む。この定義は、術後感染を引き起こす病原体が術前よりすでに手術領域に存在していたことを示唆する。

用語説明②

- 在院日数が120日以上 の患者について
 - データ作成時に120日以上 の患者を在院日数が120日以上 の患者と見なします
- 局所麻酔で行った手術における麻酔終了時刻について
 - 当該術式が局所麻酔で行われた場合の手術終了時刻を麻酔終了時刻と見なします
- 麻酔前の感染状況について
 - 膿瘍、蜂窩織炎、腸穿孔、肺炎、敗血症などは感染に含まれます。真菌感染、ウイルス感染などは感染に含まれません。また白血球数やCRP等の検査結果の数値のみで感染は判断できません。